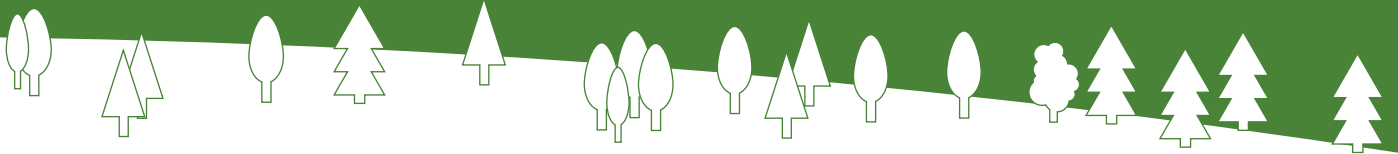


# 副産物リサイクルの推進



電気炉スラグをリサイクルし、電気炉スラグ製品として販売するなど、副産物の再生利用に取り組んでいます。

## 電気炉スラグ製品の販売

当社はゼロエミッションを目指して、循環型社会の構築に向けた事業活動を推進しています。製造工程で発生する電気炉スラグは、石、砂等の天然資源の代替材として活用され、工業製品として各方面で評価されています。当社では、電気炉スラグを破碎し、エージング処理を施して品質安定化を図ったのち全量を販売しています。当社の電気炉スラグ製品は、道路用路盤材やアスファルト骨材として利用されており、2005年以降、姫路市の資源循環型舗装のアスファルト骨材としても採用されています。2009年7月には、品質のさらなる向上のため、加圧式蒸気エージング設備を導入しました。これによって、スラグのエージング処理が短時間で、より確実に実施され、信頼性の高い電気炉スラグ製品の提供が可能になりました。

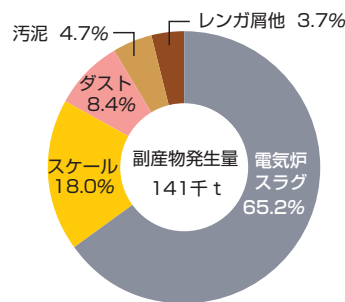
当社は、鉄鋼スラグ協会の「鉄鋼スラグ製品の管理に関するガイドライン」の順守を徹底し、製造、販売、品質等の各般にわたる管理体制を強化しており、さらにその信頼性向上を図るため第三者機関による審査制度に参加し、2009年11月認証を取得いたしました。当社は、資源循環型社会の構築により一層貢献してまいります。



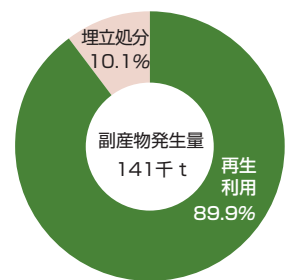
## 副産物の再生利用

副産物の有効活用と埋立処分量抑制に向け、ダスト還元より鉄源化された還元鉄 (HBI) の有効利用や汚泥の含水率の低減による発生量の削減、また、レンガ屑については用途開発推進による再資源化など、積極的な取り組みを推進しています。資材購入にともなうダンボールや事務所から発生する紙ごみや空き缶、ペットボトル、プラスチック容器などの一般廃棄物は、分別回収を徹底し、資源としての再生利用に寄与しています。

● 副産物発生量の内訳



● 副産物処理方法の内訳



### Column

#### 国内最高レベルのエージングを実施

2009年7月に、加圧式蒸気エージング設備を導入、体積安定化処理を施し、電気炉スラグ製品の徹底した品質管理を行っています。本設備は国内最高圧力の1.0MPaでの高圧処理が可能で、従来の0.5MPaに比べ、処理時間の短縮化が図れるほか、微細な粒度のスラグに対しても、粒子間に蒸気が浸透する等、高い品質安定性が得られます。



#### 多機能分級選別設備を導入

姫路市の資源循環型舗装をはじめとしたスラグ製品の多様なニーズに対応するため、本格的な分級設備を2010年4月に導入しました。本設備は、多段式の分級機および整粒機で構成されており、5種類の骨材と微粉の合計6種類を同時分級できます。また、整粒機によって電気炉スラグ製品の形状や対摩耗性など骨材の機能向上を実現しました。



私達はこれからも、多様なニーズに応え、「品質の安定した、信頼性の高い電気炉スラグ製品」を提供していきます。